

つい最近の報道で「野球の神様」と呼ばれるイチローさんが「プロ野球選手が学生野球の指導資格を得る研修会」に出席した事を聞きました。その講習を受けなければ指導できないと言うことです。あれだけの人がと不思議であったのですが、黙々と会場に入る横顔を見て自分の体験を後輩に伝える意欲を感じました。今はマリナーズの一員として選手、首脳陣のサポートでノルマは一切ないのですが、自分にできる事を突き詰めているのです。過酷なノルマは、一日300球を投げて、翌日また300球を投げると新聞は報道していました。その頃日本の高校野球では球数制限が議論になっていたので自分の身体で検証したくなったというのです。高校生は15歳から18歳、自分は45歳、成長期にある者と異なることはあるが、自分を追い込んで限界を知りたいので現役を退いた今できることだと言っています。

10年以上前ですが、斎藤茂太先生の「いい言葉は、いい人生を作る」という文庫本に出会い、「できるできない」ではない。「望むか望まないか」なんだ。という項にイチローさんの事が書いてあったのを思い出しました。先生は余り野球には関心が無かったのですが、イチローさんが年間200安打を越えた頃からこの細っこい選手に目が離せなくなりました。

イチローこと(鈴木一朗)少年がはつきりと自分の意志で「野球をやりたい」と言ったのは小学校3年の時で、今でもプロ野球の選手としては非常に細くてスマートですが、実は鍛えた身体は筋肉質だそうです。当時は俗に言う「もやしっ子」というきゃしゃな体質であったのです。駿足ではあったけれどあまりにも繊細でひ弱な外見は少なくとも野球向きではないのです。しかし、彼は野球をしたくと強く望みその思いを貫き地元のスポート少年団の野球部に入団したのです。あれよあれよという間に「オリックス」に入団。優勝に導き、アメリカでも指折りのスター選手の名をほしいままにし、数々の記録を塗り替えた事実はわたしたちに感動を与えました。この最初の一步は一朗選手の強い望みから踏み出されたのです。またこどもの望むことならだけ叶えるという鈴木家もご立派です。プロ野球の選手になりたいという彼のためにこどもの頃から野球道具は常に注文して本物を与えたと言います。お父さん(俗に千チロウ)は、当時の我が家の経済状態では考えられないのですが、小さいころもながら目標をしっかりと持っている彼を見て、この道具など安い物だと自分に言い聞かせて購入しましたと言ったそうです。またできる限りキャッチボールの相手を務めたと言います。一朗少年のプロを望んだ努力と家族が夢を実現したのです。何でも望めば必ずかなうと言うことではありませんが、望みを持たなかったら実現しないです。そのころの世界の若者がなりたかったものは、アメリカでは「スポーツ選手」「医師」「中国は「弁護士や裁判官」。日本では「アライ」と、「フリーター」が30%もいたそうです。その理由は責任がないし、いつでもやめられるからと言うのが理由だそうです。先生は「生涯何になるか

横浜市民ミュージカル  
「横濱どんたく〜音楽の架け橋〜」  
2020年2月16日(日) 関内大ホール 自由席  
第1回目 11:00~ 第2回目 16:00~  
一般¥2,500 高校生以下¥1,500 チケット好評発売中



右：男声合唱団「中区合唱祭」  
左上：赤い靴ジュニア「クリスマスキャロル」  
左下：「よこはまメルヘン」大晦日 23:45~0:15 是非ご参加下さい！



も定まらない人物など面接も紹介もお断りだ。「医師になる」「システムエンジニアで頑張る」などが普通だろうね。あきれたように書いていました。また日本のプロ野球も様変わりしていますね。まず、横浜ベイスターズの筒香がフロリダの「レイズ」に決まったそうで、あの長距離砲がどこまで相手を困らせるか見ものです。新しく入った選手や、筒香の代わりがどう出てくるかも気がかりです。実は私たちがベイスターズとは大きな関わり合いを持ったことがあります。鈴木尚典選手、屋鋪 要選手、佐々木大魔神投手は私も赤い靴児童文化大賞をお受け頂いた方々で、社会のために大きな功績を残された事業をされました。私共でも、かつて開幕戦に2回出演をお受けし、500名ものこともグンサーがフィールドで踊り、家族で観戦をしたり、皆で今日のDeNAベイスターズを身近に感じ応援するようになりました。前述の鈴木選手は今度「ルートイン・リーグ」に新しく参加する「神奈川フューチャードリームス」の監督になります。このチームは「ベイスターズ」の傘下になるそうです。野球も益々面白くなりベイスターズファンも増えるでしょうね。

さて、一年は本当に早いもので、12月22日、横浜開港記念会館で開催された中区合唱祭に赤い靴事業団から唯一「横浜☆男声合唱団」が出演しました。その歌声を聴いた方から早速入団希望のお電話があり嬉しい限りです。そして赤い靴ジュニアコーラスのクリスマス・キャロルがヨコハマグランディングインターコンチネンタルホテルで24日、25日の二日間に亘り開催されました。その柔らかい、伸びのある、明るく澄んだ歌声は多くの方々を魅了いたしました。いよいよ2020年はオリンピックピックイヤーですね。世界中の方々が日本を訪れます。アスリートの皆さんもそれぞれ目標の記録に向けて頑張るでしょうね。横浜市民ミュージカル「横濱どんたく〜音楽の架け橋〜」は世紀の祭典を盛り上げるタイムリーな公演で、日本吹奏楽事始めの歴史と共にその中で懸命に夢を追いかけた少年達と時代と共に生きた人々の姿を描いている物語です。稽古も中盤に入り白熱しています。本番が大いに期待されています。

2019・12・28 団長 松永 春  
暮れに読む方には「良いお年をお迎えください」新年に読む方は「おめでとございます。本年もよろしくお願いたします相変わらず」

今後のスケジュール

12/31(大晦日~令和2年元旦) よこはまメルヘン 山下公園 「童謡を歌い継ごう」赤い靴像前 大晦日 22:45~元旦 0:15 参加自由
2020年 2/16(日) 横浜市民ミュージカル 「横濱どんたく」 関内大ホール 第1回 11:00~第2回 16:00~ 一般¥2,500 高校以下¥1,500
3/11(水) 中区町内会長感謝会 ロイヤルホール 横浜ローゼス 出演
4/13(月) 国際シニア合唱祭・ゴールドンウェブ in 横浜 みなとみらい大ホール ザ・シワクチャーズ横浜 出演
5/5(祝) こどもの日コンサート みなとみらい大ホール 赤い靴ジュニアコーラス 赤い靴ダンスキッズ 出演